


～卒業生に贈る言葉～
 「別れが出た幸に感謝の気持ちで卒業はスタートです」
 「卒業はゴールです」

本村小学校

だより

第3月号



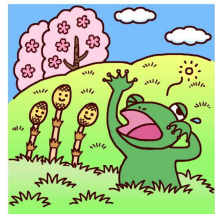
校長 山村 登洋

「啓蟄」

3月6日は二十四節気の「啓蟄」です。あまり聞き慣れない「啓蟄」とは、「啓蟄戸」啓虫(ごもりむし)戸を啓(ひら)く頃で、地中で冬眠をしてきた虫たちが姿を現すという意味です。この日を境にすべての虫が現れないとしても、いよいよ本格的

6年生を送る会

2月28日は、「6年生を送る会」が行われました。各学年からの心温まる出し物や呼びかけに大変感動しました。この1年間6年生とペア学年であった1年生の歌、呼びかけでは、「最後まで頑張れー」と1年生を心配する6年生や「ずいぶん成長したなー」と1年生の立派な姿に感心している6年生など、その笑顔にはペア学年としての絆が改めて深かったと感じた瞬間でした。



発行所 港区立本村小学校
 〒106-0047
 港区南麻布3-9-33
 TEL:03-3473-1462
 FAX:03-3443-8535

有終の美

「有終の美を飾る」これは物事をやりとおし、最後を立派に仕上げることで、結果が立派であるという意味です。学校にとつての「有終の美を飾る」は、全ての子供たちが1年間のまとめをしっかりできることです。具体的にはこの1年間で何が出来るようになり、まだできないことは何なのかをはっきりさせることです。そこで少し考えてみましょう。自分にとつて何をやり通すことが「有終の美を飾る」ことになるのでしょうか。今年1年、頑張ったぞ、充実した1年だった！と胸を張って言うためには、どうすれば良いのでしょうか。これから何をすればいいのでしょうか。一つでもいいので、自分で何か、「これは頑張った！」というものをつくってほしいと思います。例えば勉強なら漢字テスト毎回満点、毎回合格。毎時間、必ず発表した、挙手し

「今年の自己肯定感は!?!」

教育スローガン「子供の自己肯定感を倍増する学校」として取り組んできた1年間。実際に本校の自己肯定感はどうだったのでしょうか。

学年	4月	1月
1年	76%	91%
2年	72%	78%
3年	64%	73%
4年	82%	85%
5年	54%	55%
6年	43%	51%
全校	64%	75%

毎月実施している学校生活アンケートの中で「自分のことが好き」という項目を表にしたものです。どの学年もこの1年間でアップしたことが分かります。特に高学年が50%以上はとても嬉しいことです。

た。予習、復習をやった。創意工夫してノートを書いた。分からないところをそのままにできなかった、調べた。苦手を勉強もすすんでやった。なるほど、学習姿勢を頑張ったというのでもいいですね。また、生活態度で頑張ったのもいいですね。毎日、きもちいい挨拶を心がけた。自分からすすんで「こんにちは」と言えた。友達を大切にしました。整理整頓を心がけた。



中には目に見えない頑張りもあります。付く人はたくさんいると思います。見ている人はしっかりと見てくれていきますから。この3月、一人一人の子供たちがこの1年間の総まとめとしての取組をしまさに「有終の美」を飾って、それぞれ進級、進学してもらいたいです。3月22日は、第17回卒業式を行います。6年生が小学生の有終の美を飾る佳き日になるよう教職員全員で努めてまいります。